

2019.10.16

InterRisk Thai Flood Report <2019 No.04>

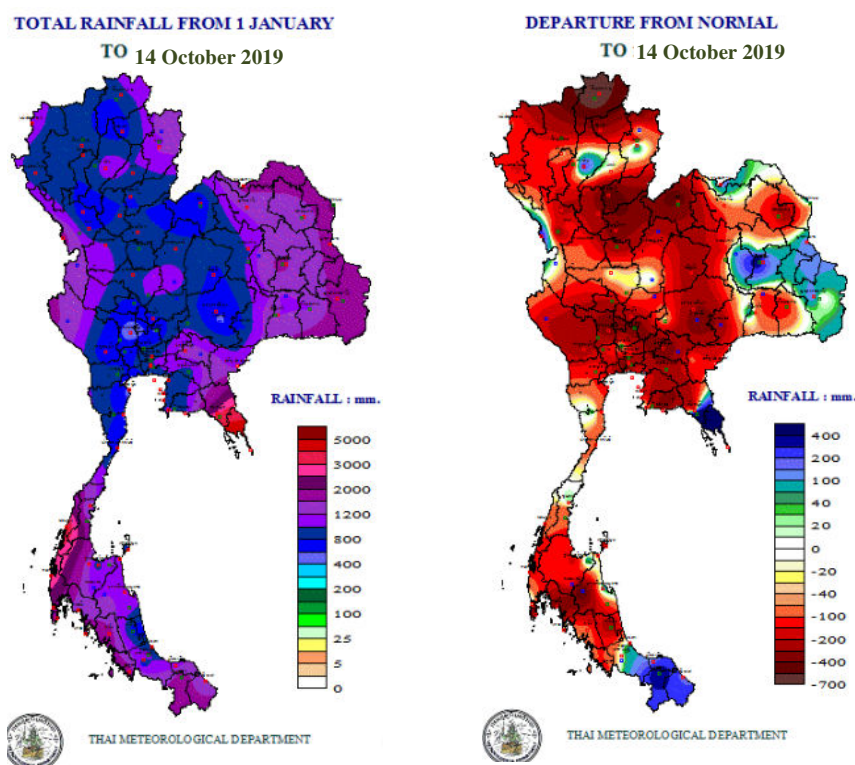
タイの洪水関連情報

概要

- ✓ タイ気象局によれば、雨季は10月中旬に終了し、乾季に移行するとのことです。乾季に入った後も特に夜間は不安定な気象が継続しますが、雨量は少なくなります。
- ✓ 季節風の向きが変わることにより、タイ北部で降雨日が減少する一方、タイ南部は増加する傾向にあります。
- ✓ 今月（10月）の降雨量は平年比5%減になる見込みですが、南シナ海で発生しフィリピンを通過してタイに向かう台風の発生には引き続き注意が必要です。
- ✓ 主要ダムの貯水量およびチャオプラヤ川の水位は、9月中旬以降減少傾向にあります。

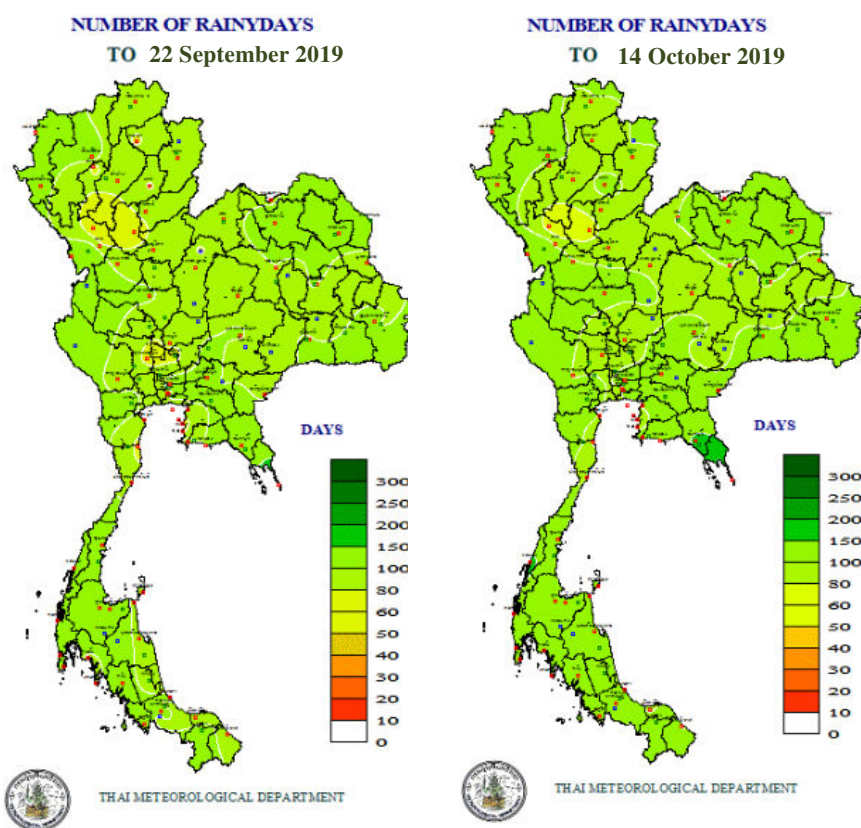
降雨量

- ✓ 下図は2019年1月1日～10月14日の累積降雨量（左）と、累積降雨量の平年（直近30年の平均降雨量）との差（右）を示しています。今年の降雨量は特にタイ北部、北東部、中央部、南部において平年を大きく下回っています。



降雨日数

- ✓ 下図は 2019 年 1 月 1 日～9 月 22 日（左）、1 月 1 日～10 月 14 日（右）の累積降雨日数をそれぞれ示しています。
- ✓ 9 月は 8 月と比較して特にタイ北部、北東部、東部で大幅に降雨日数が増加しましたが、9 月下旬から 10 月中旬はタイ東部の一部の県（Trat、Chanthaburi）を除き、累積降雨日数はほとんど変わっていません。

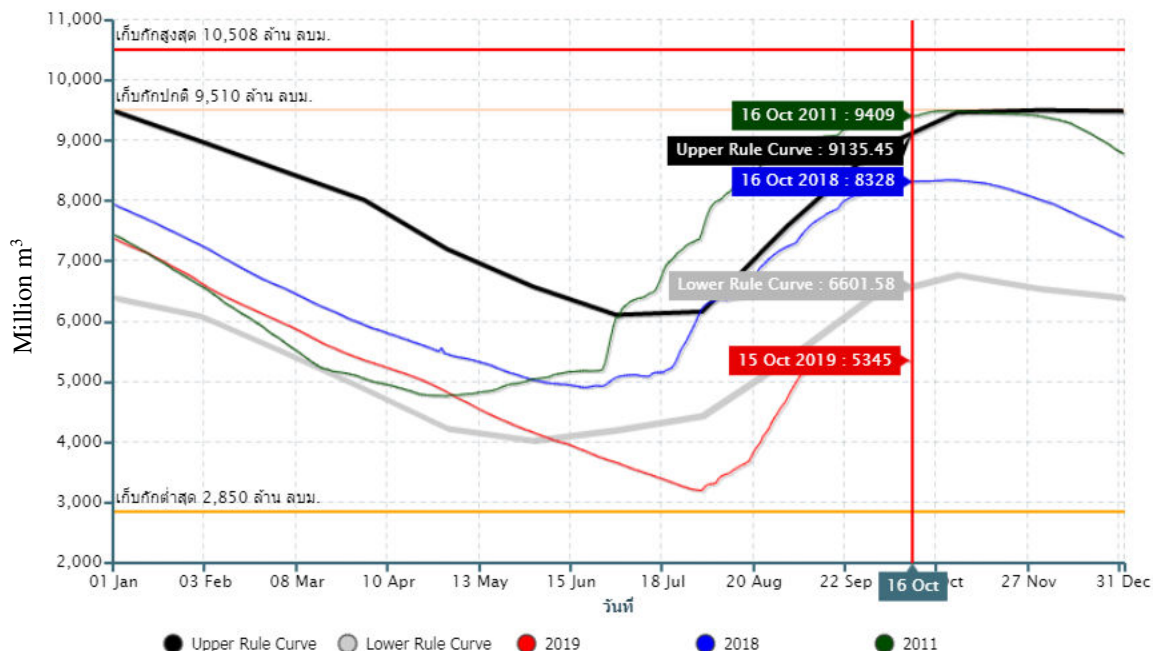


洪水関連情報

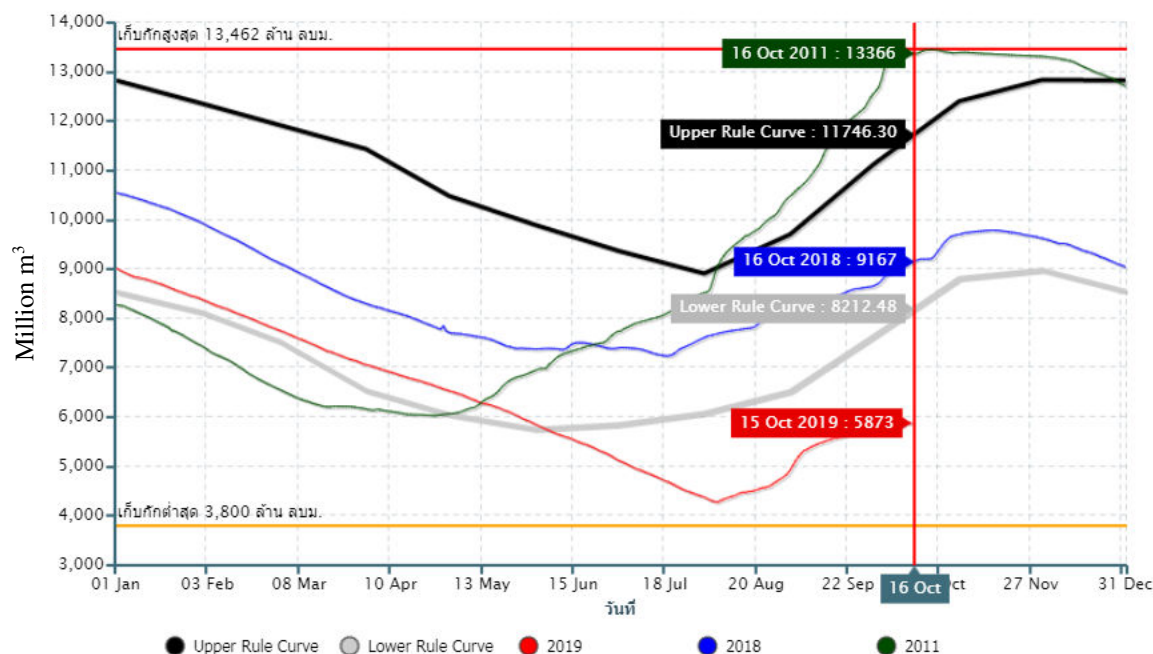
- 10/5【バンコク】バンコク各所で豪雨が発生し 8 本の主要道路が冠水。Ratchathewi、Phaya Thai 地区では小粒の雹を観測。
- 10/9【南部：Yala】Betong 地区で数時間に及ぶ豪雨が発生。27 の居住区、道路で浸水、冠水による被害が発生。
- 10/11【南部：Songkhla】3 時間におよぶ豪雨により Namhom 地区で洪水が発生。

ダム貯水量 (Sirikit ダム、Bhumibol ダム)

貯水量 : Sirikit ダム (貯水率 56%)



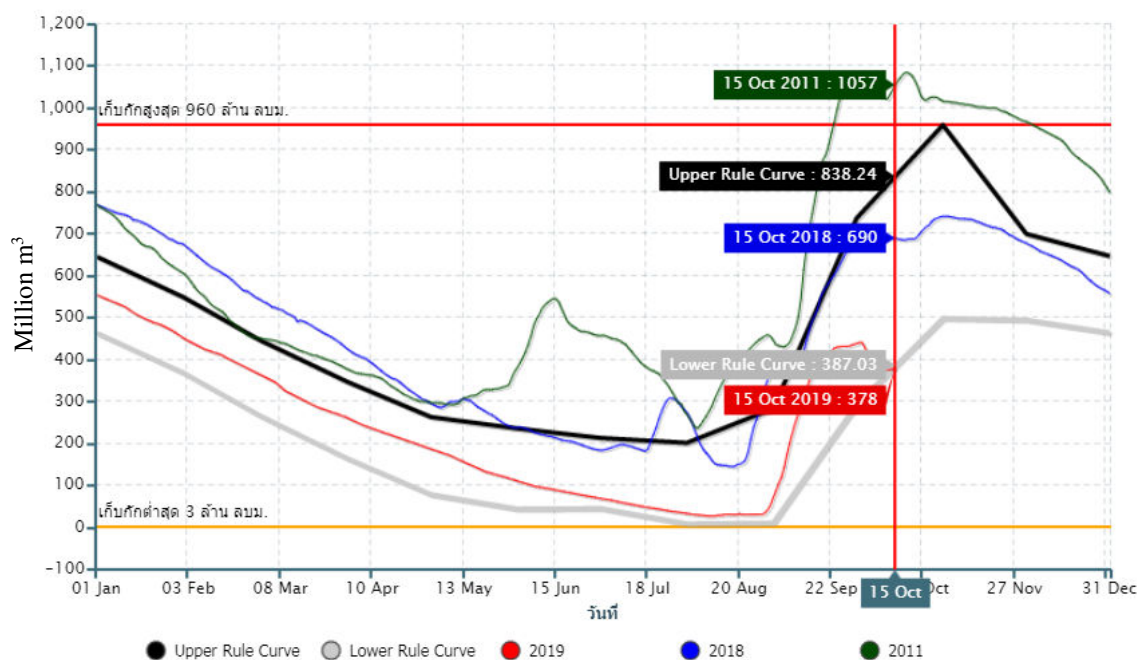
貯水量 : Bhumibol ダム (貯水率 44%)



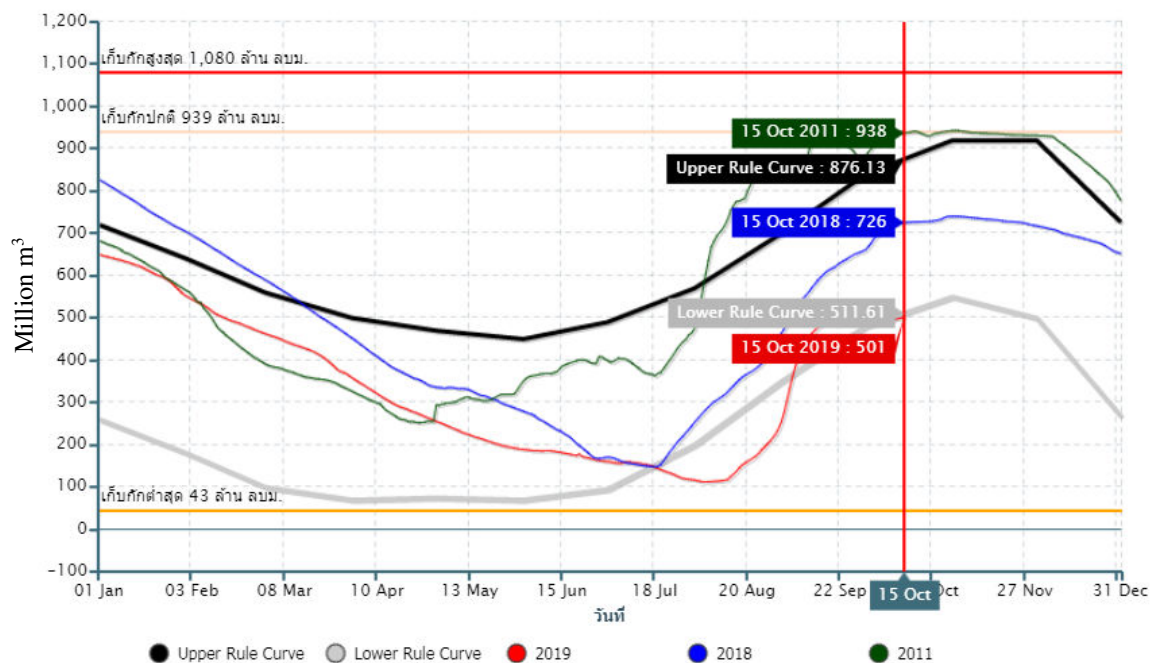
Sirikit ダム、Bhumibol ダムの貯水量は、9 月中旬時点とほぼ同じです。Sirikit ダムの貯水量は 5,345 百万 m³ (貯水率 56%)、Bhumibol ダムの貯水量は 5,873 百万 m³ (貯水率 44%) です。

ダム貯水量 (Pasak ダム、Kwaenoi ダム)

貯水量 : Pasak ダム (貯水率 39%)



貯水量 : Kwaenoi ダム (貯水率 53%)



Pasak ダムの貯水量は9月中旬時点から減少しています(貯水量: 378 百万 m³、貯水率 39%)。Kwaenoi ダムの貯水量は9月中旬時点とほぼ同じです(貯水量: 501 百万 m³、貯水率 53%)。

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム上流：2019年10月15日時点）

チャオプラヤダム上流域の河川水位は9月中旬以降減少しており、いずれの観測地点も”Normal（洪水危険なし）”の状態です。

Water Situation in the Chao Phraya River
15th October 2019



①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（m³/sec）

②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）

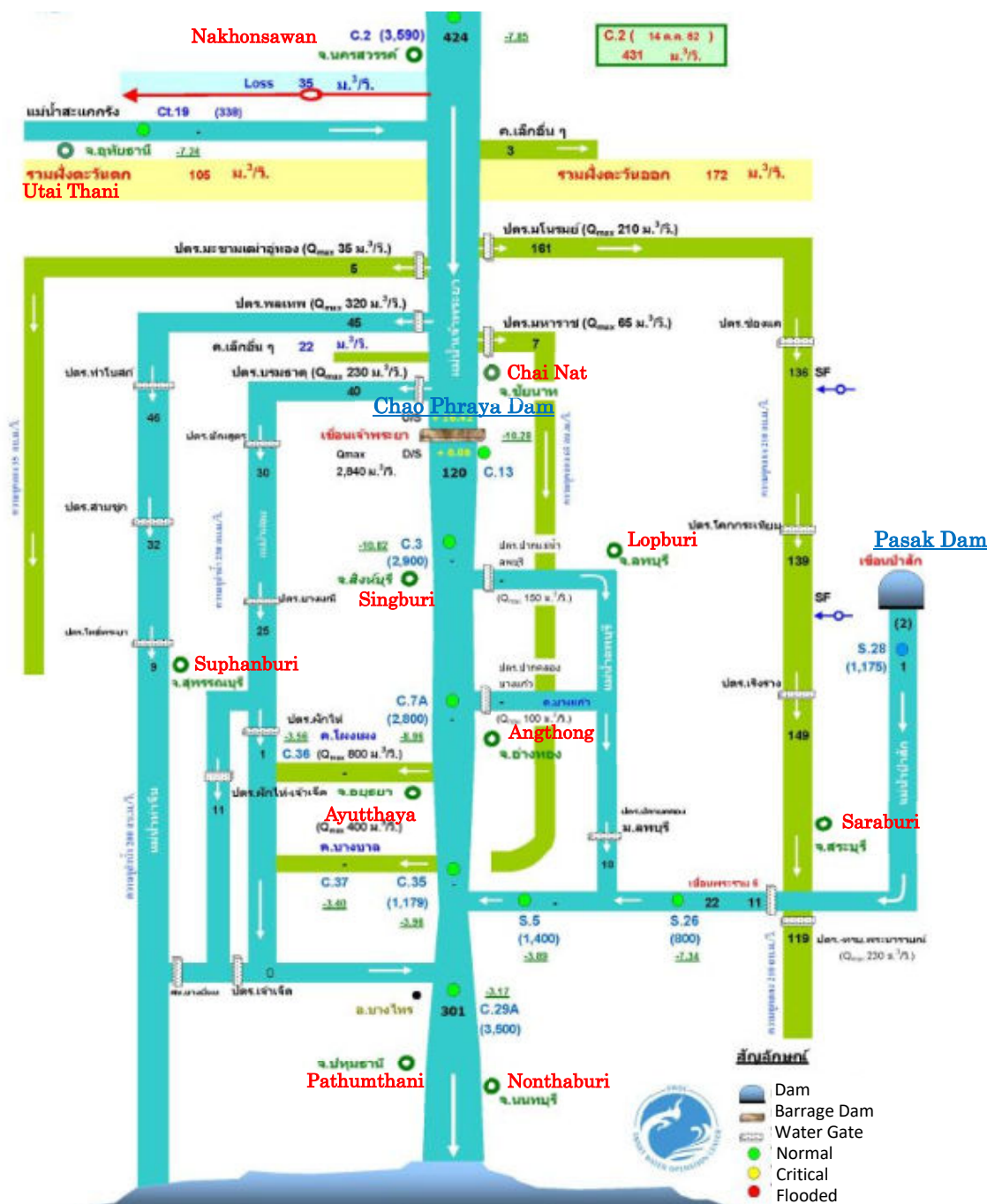
③上記②に付随する「アルファベット+数値（例：N.67）」：観測所の名称

④緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0になった場合、洪水が発生）

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム下流：2019年10月15日時点）

チャオプラヤダム下流域においても河川水位は9月中旬以降減少しており、いずれの観測地点も”Normal（洪水危険なし）”の状態です。

Water Situation in the Chao Phraya River 15th October 2019



【備考】

- ①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（m³/sec）
- ②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
- ③上記②に付随する「アルファベット+数値（例：N.67）」：観測所の名称
- ④緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0になった場合、洪水が発生）

参照

https://www.tmd.go.th/monthly_forecast.php

<http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/yearRain.php>

http://www.thaiwater.net/DATA/REPORT/php/rid_lgraph3.php?dam_id=19

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_up.php?cal2=15102019

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=15102019

https://www.tmd.go.th/monthly_forecast.php

<https://www.thairath.co.th/search?sort=desc&type=&q=%E0%B8%99%E0%B9%89%E0%B8%B3%E0%B8%97%E0%B9%88%E0%B8%A7%E0%B8%A1>

MS&AD インターリスク総研株式会社は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

MS&AD インターリスク総研（株） 総合企画部 国際業務グループ

TEL.03-5296-8920

<https://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road, Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand

TEL: +66-(0)-2679-5276

FAX: +66-(0)-2679-5278

<https://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研株式会社 2019